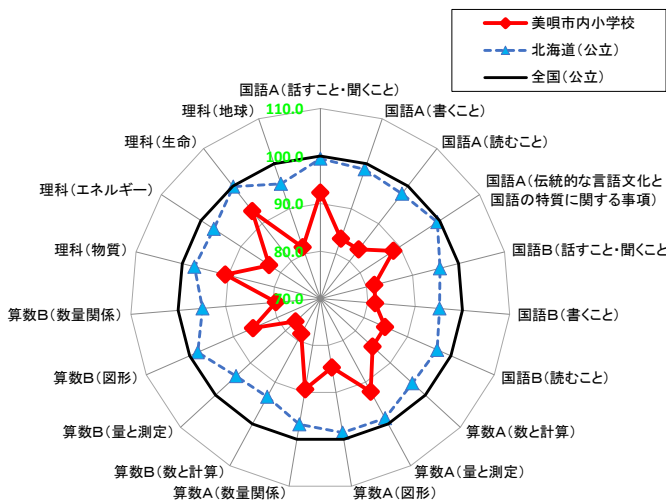


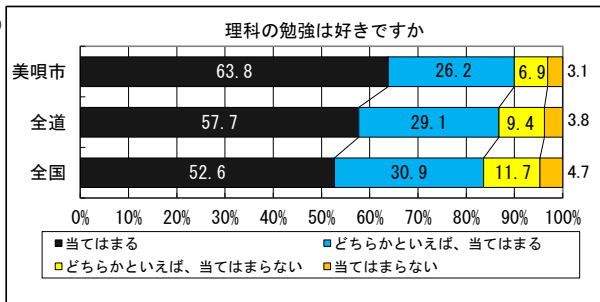
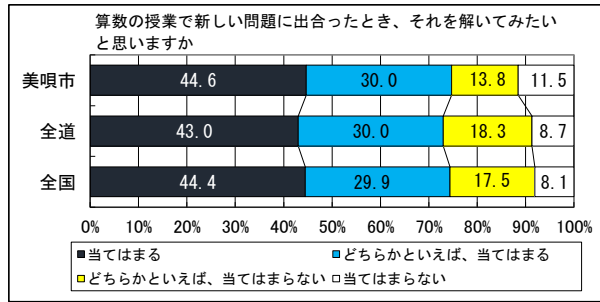
■美唄市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:5校、児童数:130人)

【教科全体の状況】

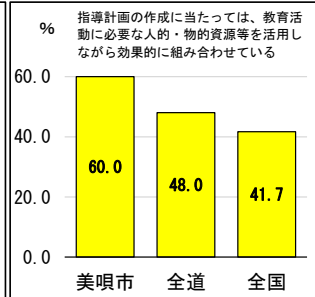
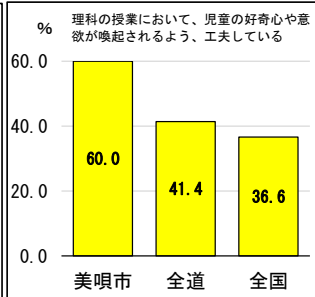
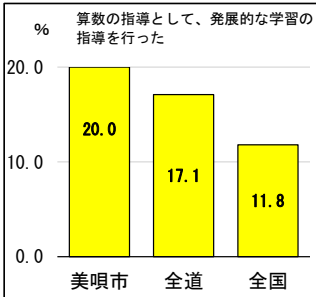
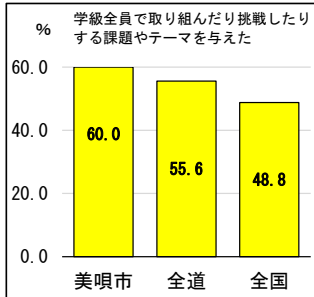
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「生命」で全国に最も近くなっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えたり、算数の指導として、発展的な学習の指導を行ったりした結果、算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたい」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「理科の勉強が好き」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理科の授業において、児童の好奇心や意欲が喚起されるよう工夫した結果、理科の勉強が好きな児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「算数の指導として、発展的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「理科の授業において、児童の好奇心や意欲が喚起されるよう、工夫している」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教職員対象の「ふるさと美唄研修」を実施した結果、指導計画の作成に当たっては、教育活動に必要な人的・物的資源等を地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている学校の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【美唄市の学力向上策】

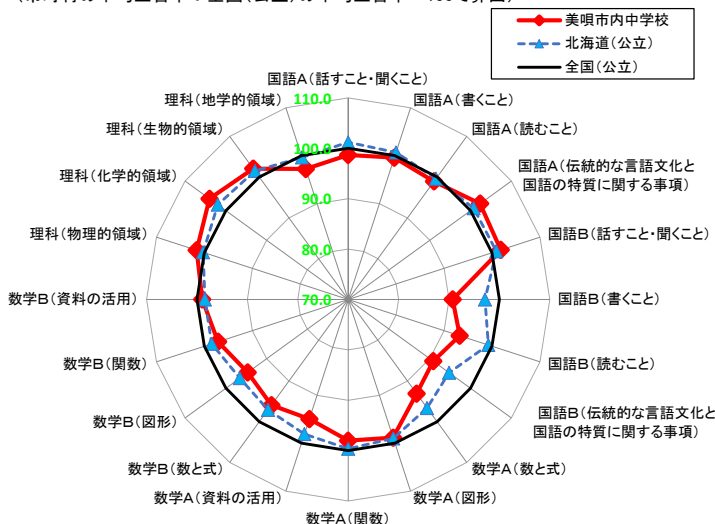
- ◎ 学力向上の重点的な取組を示した「確かな学力育成プラン」の作成
- ◎ 習熟度別学習による指導方法の工夫改善の推進
- ◎ ICTの効果的な活用による指導方法の工夫改善の推進
- ◎ 学力向上に向けた複式学級のある学校への学習支援員の配置
- ◎ 教育支援ボランティア等による補充的な学習の推進
- ◎ 学校の校内研修の充実を図る公開研究指定校に対する研究助成の実施
- ◎ 美唄の歴史や産業などを学び、授業等の活用を目指した教職員対象の「ふるさと美唄研修」の実施

■美唄市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:4校、生徒数:141人)

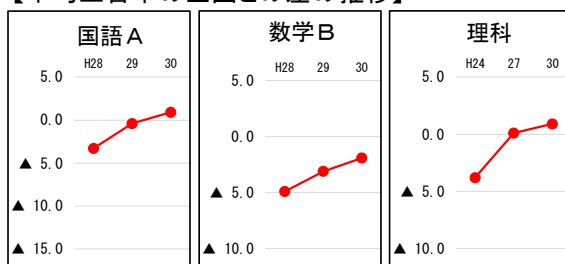
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

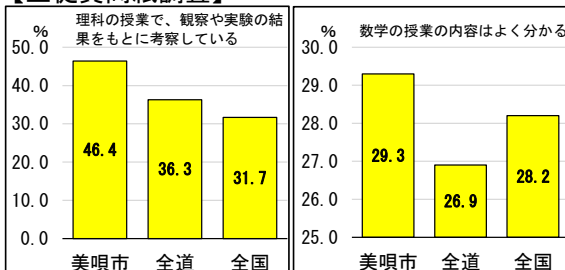


【平均正答率の全国との差の推移】

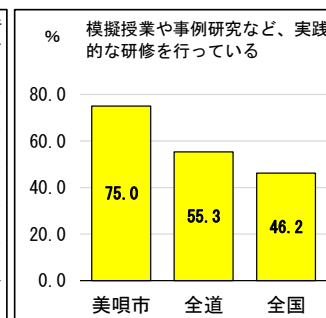
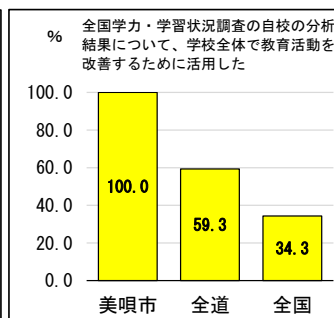
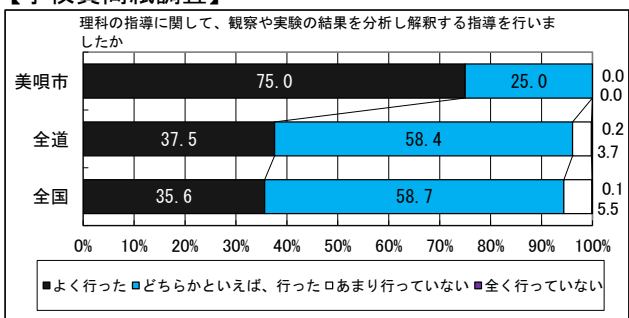


※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学Bでは、「資料の活用」で全国に最も近づいている。 ○ 理科では、「物理的領域」「化学的領域」「生物的領域」で全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理科の指導に関して、観察や実験の結果を分析し解釈する指導を行った結果、観察や実験の結果をもとに考察している生徒が増え、理科で全国を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察している」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用したり、模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行ったりした結果、数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が増えるとともに、数学Bでは、前年度と比較して、全国との差が縮まったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「理科の指導に関して、観察や実験の結果を分析し解釈する指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用した」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【美唄市の学力向上策】

- ◎ 学力向上の重点的な取組を示した「確かな学力育成プラン」の作成
- ◎ 習熟度別学習による指導方法の工夫改善の推進
- ◎ ICTの効果的な活用による指導方法の工夫改善の推進
- ◎ 学力向上に向けた複式学級のある学校への学習支援員の配置
- ◎ 教育支援ボランティア等による補足的な学習の推進
- ◎ 学校の校内研修の充実を図る公開研究指定校に対する研究助成の実施
- ◎ 美唄の歴史や産業などを学び、授業等の活用を目指した教職員対象の「ふるさと美唄研修」の実施